

うれしの 市議会だより

令和6年
(2024)
1月29日発行
Vol. 72



令和5年 第4回定例会

補正予算等	2~4
指定管理者について	5
人事・賛否表・陳情	6
議員とかたろう会	7
一般質問	8~16
トピックス	17
委員会レポート	18
お知らせ・会期日程・ときの人	19~20

▲ 市民の安心・安全を願って

発行 ● 嬉野市議会
編集 ● 議会広報編集特別委員会

〒849-1492
佐賀県嬉野市塩田町
大字馬場下甲1769番地
TEL 0954(66)9127
FAX 0954(66)2887



一般会計総額が

212億9,760万円に



第4回定例会 一般会計補正予算額は

8億6288万円

令和5年第4回嬉野市議会定例会は12月1日に招集され、12月18日まで18日間の日程で開催されました。

提案された議案は、12月8日に追加で提案された議案も含め条例の制定1件、条例の一部改正6件、指定管理者の指定4件、市道路線の認定1件、一般会計を含む令和5年度補正予算7件、教育長の任命など人事案件6件の全部で25件が上程され、12月8日に慎重審議を行い、12月18日に全議案を可決・同意しました。

(賛否表は6P)

今議会に提案された一般会計補正予算の歳入の主なもの、前年度繰越金7億7880万円を繰り入れ、財政調整基金からの繰入金を2億6018万円減額、また国からの地方創生臨時交付金(電力・

ガス・食料品等価格高騰重点支援助交付金)が1億8010万円などとなっています。

歳入の主なもの、ふるさと融資制度を活用し、魅力ある地域づくりの推進に寄与するために民間事業者が行う事業に対する融資として市債で1億円、乳幼児の医療費助成事業に1248万円、小学生・中学生・高校生等の医療費助成事業に1147万円などとなっています。これにより歳入歳出それぞれに8億6288万円が追加され、一般会計予算の総額が212億9760万円となります。

その他の議案としては、嬉野温泉駅周辺の「うれしのまるく」や「嬉野総合運動公園」など公共施設の指定管理者を指定する議案などを審議しました。

議会としては、可決した予算の速やかで確実な執行と指定管理者となった施設の管理・運営状況

など、これから厳しくチェックしていくこととなります。

会計名		補正額	補正後の総額
一般会計		6億7,796万円	211億1,268万円
一般会計 (12/8 追加補正)		1億8,492万円	212億9,760万円
特別会計	国民健康保険	1億4,163万円	37億565万円
	国民健康保険 (12/8 追加)	268万円	37億833万円
	後期高齢者医療	217万円	4億2,200万円
	駅周辺土地区画	236万円	9,356万円
企業会計	下水道事業		
	収益的収入	1,512万円	8億5,632万円
	収益的支出	643万円	8億3,385万円
	資本的収入	3千円	5億273万円
	資本的支出	88万円	6億5,087万円

申請がさらに便利に

行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例について

この条例は、市の機関等に係る申請や届出などの手続きを、インターネット等を利用して、自宅のパソコンやスマートフォンから行えるように

するために必要な共通事項を定めるものです。これにより手続き等の簡素化が図られ、市民の利便性向上が見込まれます。これまでの書面による

手続きに加えて、オンラインによる手続きも可能となります。書面等の手続き全てをオンラインに移行するものではありません。

この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定め、情報システムが整いしだいオンラインでの手続きが可能となります。市の機関には、執行機関や議会、公営企業、指定管理者などが含まれています。

今後、このことを受け議会においても、早急に規則などの整備を行い、整いしだいオンラインによる陳情や請願等の提出が可能となり、郵送等の書面申請に加え、どこからでもインターネットを介して申請できるようにいたします。



▲ 利便性の向上にむけて

条例のなかみ

子育てしやすい街 全国9位

乳幼児の医療費助成事業 **1248万円**

小学生・中学生・高校生等の医療費助成事業 **1147万円**



▲ 子どもたちの健康のために

今回どちらの医療費助成事業も増額補正されました。

乳幼児（0歳～就学前）の医療費助成事業は、今回1248万円が増額され、総額で5285万円となります。この事業については、県支出金として総額の1/2が補助されます。小学生・中学生・高校生等の医療費助成事業は、今回1147万円が増額され、総額で7429万円となります。この事業については、全額が市の単独事業で「ふるさと応援

議会としては、この結果を広く広報し、子育て世代や若い世代の移住・定住につながるような今後の施策を期待し提案をしていきます。

嬉野市においては、昨年までは少なかったインフルエンザが、例年より早く夏頃から流行しており、現在でも猛威を振るっています。そのような中、子どもたちの保険診療件数も増えており、

予算のなかみ

販売促進に向けて

うれしの茶PR活動推進事業 **73万円**



▲ 消費拡大に向け千載一遇のチャンス

昨年8月に福岡県で全国茶品評会が開催され、「蒸し製玉緑茶」と「釜炒り茶」の2部門において個人の部で1等1席の農林水産大臣賞、また団体賞にあたる産地賞をそれぞれの茶種で受賞し、4冠という偉業を達成しました。これを機に、市の主要産業のひとつである茶産業のさらなる振興のため、うれしの茶のPRと消費拡大を促進するため新規で73万円が予算化されました。

事業の内容は、市・県・JAなど茶業関係団体の代表者で構成されている「うれしの茶活性化委員会」がキャラバン隊を結成

し、主要都市等において、うれしの茶のPR活動を行う事業で、その経費の一部を補助するものです。

問 場所と期間は。
答 大阪市で2日間程度と考えている。

問 販売促進に効果があるのか。

答 今後の販売促進に繋げるためには、消費者に「うれしの茶」の良さを認知していただき、販売されている「棚」を増やすことが大切であり、そのためには、産地が一つになつてのPRが必要と考えている。

手厚い支援のために 電力・ガス・食料品等価格高騰 重点支援給付金支給事業

1億8010万円

国では、令和5年11月に「デフレ完全脱却のための総合経済対策」において、低所得世帯等への支援として、住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり7万円を追加で給付することが決定されました。

これを受け、市においても第4回定例会で追加議案として一般会計補正予算（第6号）が提出され可決しました。

事業の内容は、12月1日を基準日として、令和5年度の住民税非課税世帯（住民税均等割が課税されている者の扶養親族のみで構成される世帯を除く）に対し、1世帯当たり7万円を支給するものです。市内では約2500世帯



▲ 生活費のために

問 申請手続きが必要か。
答 対象者へハガキ等で連絡し、その後申請をしていただくことになる。

問 支給はいつ頃の予定か。
答 令和6年1月末ごろからを予定している。



指定管理者が決定

第4回定例会へ指定管理者の指定4件が提案され、議案質疑にて慎重審議し、全て可決しました。

嬉野市嬉野老人福祉センターと嬉野市いきいきデイサービスセンター「湯つくらーと」の指定管理者は、長期にわたり指定管理者として管理運営の実績がある社会福祉協議会と、嬉野町社会事業助成会へ指定されました。

嬉野総合運動公園等については、引き続き体育協会への指定がなされました。

また、嬉野市道の駅等「うれしのまるく」については、これまで市が直営で事業を行った結果等を踏まえ、新たに民間事業者への指定がなされました。

議会としては、施設の効果的な活用により更なる利用者の獲得に向けた取り組みなどの自主事業の展開を期待するとともに、施設管理や運営状況を確認していきます。

嬉野市
嬉野老人福祉
センター

社会福祉法人
嬉野市社会福祉協議会
(令和6年4月1日から令和9年3月31日)



嬉野市
いきいきデイ
サービスセンター
「湯つくらーと」

社会福祉法人
嬉野町社会事業助成会
(令和6年4月1日から令和9年3月31日)



嬉野総合運動公園、
鷹ノ巣公園、轟の滝公園、
嬉野市中央体育館

一般社団法人
嬉野市体育協会
(令和6年4月1日から令和11年3月31日)



嬉野市 道の駅
「うれしのまるく」

株式会社
ビープラスト
(令和6年4月1日から令和9年3月31日)



人事

● 嬉野市教育委員会教育長

杉崎 士郎 氏

(嬉野町大字下宿)



● 嬉野市教育委員会委員

中島 構治 氏

(塩田町大字真崎)

● 嬉野市固定資産評価

審査委員会委員

川原 和彦 氏

(塩田町大字馬場下)

富永 深務 氏

(嬉野町大字下野)

納富 作男 氏

(塩田町大字真崎)

大島 正信 氏

(嬉野町大字下宿)

令和5年第4回定例会議案賛否表(主なもの)

○は賛成 ●は反対 議長は採決に加わりません

議案番号	議 案 名	番 号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		結 果	表 決 数	水山洋輔	大串友則	古川英子	阿部愛子	山口卓也	諸上栄大	諸井義人	山口虎太郎	宮崎良平	川内聖二	増田朝子	森田明彦	芦塚典子	田中政司	梶原睦也
議案第47号	嬉野市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	嬉野市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	嬉野市職員の給与に関する条例及び嬉野市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	指定管理者の指定について(うれしの まるく)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	令和5年度 嬉野市一般会計補正予算(第5号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	嬉野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	嬉野市教育委員会教育長の任命について	同意	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	嬉野市教育委員会委員の任命について	同意	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

陳情

● 第7号

令和6年度理科教育設備整備費等補助金予算計上について
のお願い

千代田区神田小川町

公益社団法人

日本理科教育振興協会

会長 大久保昇 氏

● 第8号

政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情

佐賀県三養基郡上峰町

「庁舎内の政党機関紙勧誘の自粛を求める佐賀県民の会」

代表 岡孝一 氏

● 第9号

带状疱疹予防ワクチン接種に関する助成導入の陳情

嬉野市塩田町大字合所

杉谷雅博 氏

● 第10号

令和6年度看護学校運営費市町補助金要望について

鹿島市大字高津原

鹿島藤津地区医師会立

看護高等専修学校

校長 太田春彦 氏

次ページから 一般質問

13議員が質問

諸井 義人 議員
P8

古川 英子 議員
P9

芦塚 典子 議員
P10

森田 明彦 議員
P10

水山 洋輔 議員
P11

梶原 睦也 議員
P12

川内 聖二 議員
P12

諸上 栄大 議員
P13

山口 卓也 議員
P14

山口 虎太郎 議員
P14

増田 朝子 議員
P15

阿部 愛子 議員
P16

宮崎 良平 議員
P16

議員とかたろう会



議員とかたろう会を開催

11月16日に嬉野高校嬉野校舎の生徒と「議員とかたろう会」を開催しました。

前号の議会だよりでは、嬉野高校塩田校舎の記事を紹介していました。今回、議員とかたろう会でいただいた意見を取りまとめた結果を一部ご紹介します。

なお、取りまとめた意見は市長へ提出しました。

1 観光について

● 嬉野へ観光に来てほしい。年齢層を上げ、若い人を呼び込むため、大型ショッピングセンターや映画館、サウナなどあれば、若者の定住も望まれるのではないかと。

● 観光客メインではなく、地元の人が良いと思ってSNS等で発信できる施設等があれば、観光客が増えるのではないかと。嬉野は大人の街だと思っている。子どもの遊べる場所（プール）や武雄図書館のような勉強する場所があったらいい。

2 日頃の暮らしか遊びについて

● 自転車で通学しているが轟方面は暗いので、防犯灯をつけてほしい。
● 通学路である塩田川沿いの道路の舗装が傷んでいる所がある。



▲ 嬉野校舎での風景

● 通学路に美野の道路を自転車で通る車が多い。
● バスの運行本数が少なく、頻度を朝夕時間帯だけでも増やしてほしい。
● 嬉野市内の巡回バスがあったらいい。
● 嬉野の商店街の道路がデコボコなのできれいにしてほしい。

取りまとめたご意見の全部は、二次元コードにてご確認ください。



二次元コード



市政を問う!!



諸井 義人 議員

林道の管理区分は

答 それぞれの市町で管理する



諸井 林道の管理はどこに委託しているか。

農林整備課長 林道管理については、年間雇用した作業員を市が委託しているのですが、3人で週4日回っている。

諸井 林道は大雨やインシンの影響で石ころ等が転がっており通りにくい状況である。重要な防火林道となっており消防車が通れないと意味をなさない。

林道や側溝の整備に森林環境譲与税を活用できないか。

市長 直近の災害が迫っているものに関しては迅速に対応したいと思っているが、その中で全てにおいて対応するのは現実的には困難であるというふうに理解をしている。

諸井 平成31年4月から新たな森林経営管理制度が始まった。

森林経営管理法施行後5年が経過しているが、森林所有者の把握はどの程度できているか。

農林整備課長 令和2年度から意向調査を開始している。

現在、令和3年度までの実績としては、意向調査に関しては212ヘクタールで、その全体が約5000ヘクタールなので、率としては4.3%程度である。

優先順位としては森林整備をするということで大規模災害を抑制する効果があり、流域の上流部から計画を立てている。

工業団地について

諸井 久間工業団地の説明会として平成22年8月5日を最後に説明会は開催されていない。

今後、地元や地権者への今までの経緯と今後についての説明はいつ頃行う予定なのか。

広報・広聴課長 早ければ今年度中に地権者に対して現状を説明し、地権者の方々から意見等を伺う機会を設けたい。

諸井 本市の今後の計画としてはどうなっているのか。

市長 今後の企業の進出、設備投資の動向等も見極めながら、そういった開発等についても考えていきたい。



▲ 急がれる林道の管理整備





13名の議員が

小・中学校の トイレの洋式化は

答 数値目標に
近づくよう努力する



古川 英子 議員



市 市内、小・中学校の洋式トイレの割合は。 **教育長** トイレの洋式化率は小・中学校合わせて43%になっている。

市 公共施設の洋式トイレ率は何%か。 **財政課長** 市が管理している公共施設67カ所です率は77・9%になっている。

市 市のトイレは77・9%。子どもたちも学校で洋式トイレに入りたいと思うが、今後洋式化する計画があるのか。 **市長** 学校のトイレは非常時に多くの方が避難される場所でもあり、国として2025年までに95%を洋式化する数値目標をあげている。なるべくそこに近づけていくような努力を今後もしていきたい。

出産祝い金

市 市の昨年度と本年度現在までの新生児数を伺う。 **市民課長** 令和4年度は169名、令和5年度11月末で104名である。

市 嬉野市に生まれてきてくれてありがとうと



▲ みんなが利用しやすい洋式化を

いう思いを何らかの形に考えて頂けないか伺う。 **市長** 物を何か差し上げることが必ず子育て支援になるとは思っていない。きめ細やかな助産師、保健師など専門的な人材とのつながりを多くもち、子育て支援センターなどの施設充実を力を注ぎたいと思っている。

避難行動要支援 個別計画書について

市 独居老人に対しての避難行動支援個別計画書が作成されていないが。 **福祉課長** 独居老人の方という事で限定するところは規定がない。避難する際に1人で難しい方の調査は、今のところ要介護認定の方しかできていない。

市 協力体制を強化し、誰一人残すことなく災害に遭わないよう、支援ができる名簿を作成するべきだ。 **福祉課長** 情報提供をいただければ、個別計画書を作っていくことは可能である。



芦塚 典子 議員



工業団地の適地調査は

答 4候補地を選んだ

芦塚 工業団地調査は進められるのか。

広報・広聴課長 令和2年度は開発可能エリアとして4候補地を選んだ。検討するための基礎資料として活用していく。

芦塚 オーダーメイドで造成をされるのか。

広報・広聴課長 現時点では確定はしていない。

芦塚 久間工業団地は、インターも近く、市内に技術系高校もあるので人材の確保等できる好立地条件であるが、工業団地を活かす計画はないか。

市長 開発事業者の意見聴取を行ったので、年明けに地権者の意向を伺い最終的な決断をしていく。

芦塚 企業誘致に関しては、本市は有利な条件があるが、どのように推進していくか。

市長 民間の投資意欲の動向を見極めながら、工業団地として開発を行った上で、分譲するのか総合的に判断していく。

も企業誘致が必要であるが、「広報・広聴課」ではなく、まず「企業誘致課」を設けて専門職を置くべきではないか。

市長 専門部局は理想であるが、少ない人員の中では、私が司令塔としてやっていく。

芦塚 本市の現在の雇用状況と税収増大施策の観点から企業誘致に一步踏み込まれてはどうか。

市長 農業ハウス団地など一人一人の移住・定住に関してそのつながりの中でサポートしていく。

広報・広聴課長 雇用推進として嬉野高校生の参加を得て市内35企業の合

同企業説明会を開催した。

DMO観光について

芦塚 DMOの活動状況は。

観光戦略統括監 観光サイトの充実、佐賀神楽の開催、轟の滝公園でのアウトドア等、嬉野温泉ならではの事業をしている。

芦塚 新幹線駅を降りたら、まず観光地（塩田津・吉田窯元・不動山等）に行ける周遊バスの整備が必要ではないか。

市長 自動運転など導入を図りながら周遊バス等提案をしていきたい。



▲ 今後どうなる工業団地予定地

自動運転車両の進捗状況は

答 来年度も実証実験を行う



森田 明彦 議員



進捗状況は

来年度も実証実験を行う

森田 新幹線駅から市内への移動手段として市民の期待も大きい。実現することを前提に、その意気込みは。

市長 実証では500名を超える方にご試乗いただいた。来年度はSAG A2024国スポ・全障スポ開催に合わせて行い、課題の整理と重要性等検証を行い、実装に向けて協議を重ねていく。

森田 よい仕事おこしフェア実行委員会との連携協定について

森田 報道もされたが、

既に実行された事案は。

企画政策課長 お茶のクラフトビールの製造に向けて協議が進んでいる。

森田 今後の展開は。

企画政策課長 全国規模のイベントや商談会への参加、観光や特産品のPR等が考えられる。

森田 GIGAスクール構想の現況を問う

森田 市内全小・中学校の児童生徒全員にタブレットが配布され、授業や家庭での個別学習が期待されている。一方で全



▲産地としての窯業振興の充実を！

市長 デザインスクール
のテーマ設定は、私に一任を頂いた。吉田焼の産地再興として次年度以降の予算措置において政策として実装することを前提として考えている。

市長 デザインスクール
のテーマ設定は、私に一任を頂いた。吉田焼の産地再興として次年度以降の予算措置において政策として実装することを前提として考えている。

教育長 食品衛生管理があるので学校現場では取り組んでいない。

教育長 学校では、給食の際に残菜を出さないつぎ分けや、食育指導を通じて食べ残しを減らす取り組みをしている。



▲駅から市内への移動に期待される自動運転車両



水山 洋輔 議員

窯業振興をどの様に 取り組むのか

答 政策を実装することを前提にやってみよう



水山 肥前やきもの圏としての市の取り組みは、**観光商工課長** 肥前窯業圏の活性化協議会に加盟し、構成市町一体となつて取り組んでいる。
水山 市独自の窯業支援をどう考えているのか。
観光商工課長 観光と窯

業を連携し支援に取り組む。
水山 陶器市期間中のシャトルバスについては、窯業圏の連携として嬉野から波佐見の運行が有効だと考えるが進展を伺う。
市長 内野山から波佐見までの交通渋滞や公共交通の問題があり、議論を

加速させるためにも早い時期にアプローチをする。
水山 後継者不足や機械設備の老朽化などの問題に対する産業育成と支援について伺う。
観光商工課長 窯業関連の後継者不足が深刻化していることは十分認識している。現在、県と連携し、肥前吉田焼産地再生チャレンジ推進協議会を発足し事業展開を始めている。また、九州大学産学官民連携セミナー「地域政策デザインスクール」に参加し吉田焼の産地継承について政策提言を受けた。

食品ロスの取り組みについて
水山 本市の食品ロスの取り組みを伺う。
市長 市独自の取り組みとして、フードバンクから提供いただいた食品等を子供センターで提供する取り組みを行っている。
教育長 学校では、給食の際に残菜を出さないつぎ分けや、食育指導を通じて食べ残しを減らす取り組みをしている。

国的に家庭での活用が進んでいないとの報道もあるが現況は。
また、学校現場での子供たちの習熟度はどのような状況か。
教育長 令和3年度にタブレット端末の導入後、活用が進んでいる。家庭での活用では通信環境のない約6%の家庭に機器の貸し出しを行い対応し、各学校の実情等により徐々に持ち帰りを進めている。
学校教育課長 子どもたちのスキルアップは非常

に早く、当たり前の学習ツールになりつつある。
地域に飛び出す公務員を応援する首長連合について
森田 市長は職員にどのようなことを期待、また想定をされているか。
市長 職員も日常業務を離れ、地域貢献活動など地域に積極的に関与することによって市民からも市役所組織に対し信頼感を持っていただけると期待をしている。

2歳までの保育料無償化は所得制限を撤廃すべきでは

答 幅広く協議をする協議体を立ち上げたい



梶原 睦也 議員



梶原 「こどもまんなか社会」実現を本市でも積極的に取り組むべきでは。
市長 関係各課の連携・協議、そして地域で支援体制を強化し、こども・子育て家庭の包括的な支援に取り組む。
梶原 本年4月に制定された子ども基本法の中に地方自治体でこども計画を定めるようにとあるが、**子育て未来課長** 国が策定することも大綱に沿って、県がこども計画を作りそれを基に市で作成するようにになっている。

を具体的に市の施策に落とし込むことが必要では。
市長 子どもや若者が繰り返し意見を発信する場を我々も意識して作っていかねばならない。
梶原 出産時に「育児パッケージ」を贈呈してはいかがが。
市長 次年度の中で色々考えている。
梶原 保育園と幼稚園は3歳から無償化となるがそれぞれの3歳に関する考え方を伺う。
子育て未来課長 保育所は満3歳の誕生日を迎えた年の翌年4月1日から

再生可能エネルギー発電施設の設置条例を

答 早急に対応が必要と考える

川内 聖二 議員



川内 山林や農地を転用して太陽光発電施設が多くあるが、隣接した地域からの諸問題を伺う。
市長 雨水による土砂の流出等で近隣住民から苦情が寄せられている施設がある。
川内 農地を転用されて太陽光を設置する場合、事業者が隣接地の地権者から同意書等を取られているのか。
農業委員会事務局長 法的に同意書を取る義務はないが、本市としては任意で同意書を頂いている。
建設部長 嬉野市再生可能エネルギー発電設備設置指導要綱の中に、事業者に対し、不具合等がある場合に指導及び助言として文書を提出し、対応を求めている。
川内 民家等に損害を与えた場合に同意書等は、効力があるのか。
新幹線・まちづくり課長 災害等が起きた場合の責任に対し罰則はない。
建設部長 住民の方に不安等を持っている方もいるので、条例を検討する



▲ 条例の制定を早急に

必要がある。
川内 本市はゼロカーボンシティ宣言を行われており、市民も一緒になって脱炭素に向けて取り組まなければならないと思うが、太陽光や蓄電池の補助金等の検討はされているのか。
環境下水道課長 今後、具体的な検討を進めていきたい。
市道本通り線について
川内 舗装の整備予定を伺う。
建設部長 現在、水道管の老朽管工事が行われており、完了後早ければ、来年度から計画をしたいと考えている。
川内 本通り線の無電柱化の構想は。
建設部長 まずは舗装の改修を行いたい。
川内 本通り線は、自動運転車両の計画路線であるが、今後、一方通行に關しての構想を伺う。
建設部長 今年の10月に実証事業を行った。来年度は、範囲を広げての実証事業の計画を考えているが、一方通行は現在、考えてはいない。



▲ 充実した子育て環境を

保育料が無償となる。幼稚園は満3歳から無償となり、それぞれ無償化の時期が異なる。

梶原 ということは3月生まれの子と4月生まれの子は約1年の無償期間の差異がある。この差異を埋めるべきでは。

さらに、幼稚園・保育園の無償化は2歳までの非課税世帯のみである。少子化対策や子育て支援の面でも2歳までの保育料の無償化は所得制限を撤廃すべきでは。

市長 次年度、保育園の運営者・子育て世代々々

な意見を頂き保育料の在り方について協議する協議を立ち上げたい。

重点支援交付金について

梶原 非課税世帯への7万円の給付は早急に届けていただきたい。

重点支援交付金を独自に自治体で活用できる「推進事業メニュー」があるが今後のスケジュールは。

企画政策課長 1月22日までに提出する必要があるが、1月中旬で検討しているが今は流動的だ。

市民との対話を どうする

答 各行政区長や各種団体に
相談していきたい



諸上 栄大 議員



市長 帰国後早急にしない。情報が良いと思うかどうか。

諸上 市民の方への情報発信をした方が良くも思っている。

オランダでは、日本大使館にも訪問し、特命全権大使と面会し、ゴッホの絵画のことや、また、オランダは私どもが積極的に進めている施設園芸の先進国でもあるので、その点の協力やインバウンド誘致、文化発信についても様々な側面での協力要請を行い、これについても御快諾いただいたと認識をしている。

諸上 11月18日から23日までのイタリアからオランダへのスケジュールが掲載されていたが、その目的と内容を伺う。

市長 佐賀県市町村振興協会と市長会・町村会でのイタリアプーリア州との友好協定を結ぶことを目的に各市長・町長が訪問することで合意し、農業環境保護局との調印式を行い、食と農に関する包括的な連携について合意を行った。



▲ 積極的な情報発信に期待

諸上 市のHPに市長の部屋という欄があるが更新されていない。公式な情報発信ツールを積極的に活用することを期待するが。

市長 更新頻度ももう少し上げていきたいと考えている。

諸上 市民は市長からの情報発信を受け市長と話をしたい、また、市長との対話の場を求める方もいると思う。ふれあいトークが平成30年以降の開催がないが、そのような点も踏まえ、市民との対話をどのように考えているのか。

その他の質問

- うれしかーどを活用した経済活性化について
- スポーツフェューチャーセンターうれしについて
- 医療センター跡地活用について

市長 ふれあい対話集会についても、コロナ禍の中で、2回目以降ができていないのは大いに反省すべき点だと思っている。来年の国民スポーツ大会が終了した後は行っていきたい。各行政区長や各種団体とも相談をしていきたい。



山口 卓也 議員

子育て政策の
充実に向けた取り組みは

答 市独自の取り組みとして
打ち出していく



山口 転入して住宅を取得する方に対する住宅取得応援金は、1件あたり約100万円と手厚く（令和4年度35件総額3334万円）、その他転入してきた方への子ども応援金、孫ターン応援金、お嬢さん応援金、女

子ターン応援金がそれぞれ10万円である。

転入者への住宅取得応援金の金額を半分にするのと、市内に住んでいる方への出産・育児応援金として、例えば10万円支給する予算は捻出できると考える（令和4年度出生

数169人）。

市全体の政策のバランスを考えて制度設計ができるのではないかと。

市長 移住促進応援金については、関心を持ってもらえるように試行錯誤し制度の変更を繰り返して予算立てしている。

出生に対する一時金的なものは、恒久的に行うべきで財源の裏打ちがないと非常に無責任なことになると思っている。

子育てを切れ目なく、そして、持続可能な制度としてやっていけるような財源の見直しを考えたから政策立案している。

ふるさと応援寄附金
制度について

山口 財務省がふるさと応援寄附金について現在

の寄附金収入から一般財源に変更することを提案しているが、市財源にどのように影響するのか。

また、それに対する意見を伺う。

財政課長 一般財源に変更された場合は普通交付税の総額に含まれることになり、歳入規模がふるさと応援寄附金制度の創設前の水準まで減少することになる。

ふるさと応援寄附金の趣旨は、大都市と地方との財源の偏在の是正であり、その趣旨に反する一般財源化には反対という率直な意見である。

市長 本来の趣旨に鑑みれば、地域の魅力発信につながる副産物であり、現行制度を維持していくような努力、要望をしていくべきと考える。

4冠を機に
販売対策強化を

答 販売対策強化に取り組む



山口 虎太郎 議員



山口 販売対策強化に取り組むにあたり、茶商との意見交換や目標金額、数量等は決められ、市内在庫の把握は出来ているのか。

茶業振興課長 個々の在庫については個人情報でもあり把握が難しい。販売促進は積極的にやっていく。

山口 お金をかけ販売促進をやるのに在庫状況の数字が分からなければ目標努力の結果がみえないが。

市長 どれだけ売れたかを政策目標の数値として掲げる。

山口 塩田町の農業生産高は昭和63年で19億2000万円を売り上げていたが、現在は生産者も減少、茶業においても後継者をなくしたくない、本気で売りに出るそこを支援できるか。

市長 うれしの茶の産地は他の産地と比べても若い世代の後継者が主体となっているのが強み、希望の持てる農業へ支援の充実を図っていく。



▲ 手厚い子育て支援の実現を

配慮が
足りなかった点は

答 早期に予算が終了したこと



増田 朝子 議員



▲ カード発行を待つ人たち

増田 経済活性化事業で1万5000円を上限にうれしかーどにポイント還元する事業を行ったが、この事業の市長の所感を伺う。

市長 市内店舗の収益を向上させ、経済活性化を図るといふ本事業の趣旨は達成できた。

増田 担当課に市民から厳しい声が届いたと思うが、内容は。

観光工商課長 期限はもう終了したのか、市民以外も利用できたのかの確認があった。

増田 市民に対し、配慮が足りなかった点は何か。

観光工商課長 期外にも早く終了するとは思っていなかった。

増田 加盟店への聞き取り

観光工商課長 早期に予算が終了して短期間に店舗に集中した点は課題であった。

増田 周知期間が短いなど市民に対し、配慮が足りなかったと思うがいかがか。

市長 すべての人に配慮が行き届くのは難しい。指摘の点は課題として認識している。

増田 想定外のことは何か。

観光工商課長 こんなに早く終了するとは思っていなかった。

増田 加盟店への聞き取り

文化・スポーツ振興課長 地域の特長として利用してもらっているが、老朽化が目立ち来年度から計画的な補修を考えている。今後、維持管理に努めていきたい。

増田 がん検診も行われていたが、今後の考え方を伺う。

健康づくり課長 新型コロナウイルス感染が拡大する可能性が残っているため、現在の体制を続けていきたい。

増田 少子化が進み小中学校が統合した場合、公民館、地域コミュニティの機能を学校に持つてくることは考えられないか。

市長 地元からの声も聞いているので、それは受け止めている。

吉田公民館について

増田 吉田公民館の在り方についてどのように考えるか。

文化・スポーツ振興課長 り（アンケート等）はされたか。

観光工商課長 全店舗の聞き取りはしていないが、何らかの効果はあった。



▲ 11年ぶりの4冠達成を活かせ

山口 お茶の4冠を背負い東京、大阪に限らず販売促進対策をやるべき。

市長 厳しい状況の中「うれしの茶日本一」を使い動く。

旧医療センター跡地活用について

山口 跡地活用報告書が出ているが、報告書の内容に限らず嬉野の歴史的役割の土地、市民の方が無償で寄付された土地、しっかり考え50年後百年後に活かす利用をせよ。

新幹線・まちづくり課長 令和2年の基本協定締結時と駅完成後の民間活用地計画が変ってきている原因の説明を伺う。

市長 調査に当たっている事業者とも連携し活用を考える。

新幹線嬉野温泉駅前について

山口 令和2年の基本協定締結時と駅完成後の民間活用地計画が変ってきている原因の説明を伺う。



阿部 愛子 議員



学校給食費の無償化を

答 国・県の動向を注視する

阿部 子どもたちの健康と健全な発達を支えるためにも給食費無償化を進めてもらいたい。国からの交付金を活用し無償化を行っている自治体もあるが、市の考えは。

教育長 一度無償化すれば恒久的に続けなければならず、限られた予算の中からの支出となり、継続的な予算の確保が課題である。

給食費は保護者負担を基本に適宜必要な支援をしていきたい。現時点では完全無償化は考えていない。



▲ 健康と健全な発達を支援

高齢者の補聴器購入について

阿部 高齢者の難聴は身近な問題、聞こえの支援の重要性について認識を伺いたい。

福祉課長 難聴は多くの要因と並んで認知症発症の危険因子の一つとされていると認識している。地域の通いの場の充実、認知症カフェの開催、能力アップ教室をはじめ様々な介護予防教室と工夫を凝らして難聴の高齢者にも介護支援専門員を通じて周知を行っている。



宮崎 良平 議員



宮崎 ナイトタイムエコノミー。いわゆる夜に行われる経済活動について市の考えを伺う。

市長 嬉野における取り組みということで、まちなかのライトアップ、蛭の観賞、風鈴夜市、あつたかまつり、新幹線嬉野温泉駅の明かりのイベントなどで努力をしてきたが、それを消費としてつなげていくのには更なる努力が必要という認識を持っている。

また、道路等を占有している、日常的な経済活動においては、エリア特区などの規制緩和というも



▲ 今ある資源を活用し、夜の経済活性化を！

嬉野版ナイトタイム
エコノミーを進めるべき

答

DMOと連携していく
余地は十分ある

のも考えなければ、なかなかお金が落ちる仕掛けをつくっていくことは難しいと認識している。

静寂な就寝環境を守っていくという観点も必要であり、十分に協議しながら思っている。

宮崎 毎日きらびやかにライトアップしながらイベントをやるとか、現況では不可能に近い。そのような中、今年10月に、

港区新橋で外国人観光客向けのスナックはしごツアーが開催され話題になった。

このツアーは、内閣府CJPFアワード2023で優秀賞を受賞されている「スナック横丁文化株式会社」が主催されており、現在、海外に向けたスナック文化の発信に力を入れておられ、ナイトタイムエコノミーの「環として、海



第9回

うれしのレクボッチャ大会

(佐賀嬉野バリアフリーツアースセンター主催)

12月3日(日)第9回うれしのレクボッチャ大会がU-SPOにて開催されました。6才から87才の24チーム(98名)の選手が参加し市議会からも2チーム参加しました。

ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目にもなっています。

今年開催されるSAGA2024国スポ・全障スポの正式競技にもなっており、本市での開催が予定されています。

ボッチャは、赤・青・白のボールを用いて行うスポーツでジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに赤・青それぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競うスポーツです。

相手のボールをはじいて、自分が優位に立てるように位置取りをしたり、的をはじいて移動させることができるため、様々な戦略や相手選手との駆け引きが魅力であり、老若男女、障がいのあるなしに関わらず、すべての人が一緒に、そして競い合うことが出来るため賑やかな笑い声が響き渡り盛り上がりました。

今回、準備・運営をしてくださった多くの関係者の皆様に感謝いたします。



▲盛り上がるボッチャ大会

阿部 軽度難聴者の認知症予防の支援として、耳鼻科受診を勧め早期からの補聴器の使用が必要だと言われている。
福祉課長 現在、身体障

阿部 市報の配布状況はどうなっているか。
市報の配布について まだ多くない、佐賀県内でも助成している市町はない。必要であれば国や県に要望を伝え、事業実施については検討していきたい。

市長 市報の配布状況は、多くの方に届くように努力を重ねていきたい。
市報の配布について 市報の配布状況は、多くの方に届くように努力を重ねていきたい。

市長 市報の配布状況は、多くの方に届くように努力を重ねていきたい。
市報の配布について 市報の配布状況は、多くの方に届くように努力を重ねていきたい。

市長 観光コンテツツの造成でいけば観光DMOの新たなコンテツツ作りとして、また文化として支援の在り方も考えられる。
その他の質問
・防犯について
・市街地における有害鳥獣対策について

議会だより 前号(Vol.71)の訂正とお詫び

前号発行した議会だよりの一般質問(P.20)6段目の記事において、最後の問い答えに誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

【前号の記事】

古川 計画書の作成について各行政区長や民生委員等でも作成できないか。
福祉課 個別避難計画書の作成は可能である。

【訂正後】

古川 介護認定を受けていない方等について、各行政区内で計画書の作成はできないか。
福祉課 行政区や地域包括支援センター等により該当者の把握を行い、要件に合致した場合は計画作成も可能である。



委員会レポート

動く!! 委員会

観光施策について

産業建設常任委員会

調査目的

嬉野温泉観光協会が地域DMOとして登録された。そこで、九州管内でも早くから地域DMOの認定を受けた株式会社SMO南小国及び、一般社団法人由布市まちづくり観光局へ調査を行った。

委員会の意見

南小国町では、少子高齢化による一次産業や故郷の景観の衰退を危惧し、地域と行政が一緒になって株式会社SMO南小国を立ち上げられた。

設立当初は、物産館の赤字経営からの再建を目的として別々の組織を融和して業績を上げられた。

また、ふるさと納税事業も町から委託され、寄附額を増やし、それに必要な人手を地域の雇用創出へと繋げ、隙間なくあらゆる課題をこなされていた。

これもSMO南小国のCOO(最高執行責任者)が、地域に貢献し信頼を得ているからこそできていると感じた。

次に、由布市まちづくり観光局で調査を行った。湯布院温泉は、約50年と歴史



▲ 由布市で説明を受ける委員会

が浅く、団体旅行が主流の時代に個人旅行の女性客をターゲットにマーケティングが行われた。その後、その結果をもとにコンセプトを高級温泉地としてイメージを図り、街全体で集客に努力をされ現在に至っている。本市においては、合併後に塩田津の観光資源が融合し、また新幹線駅が開業して交通アクセスも良くなった。今後、あらゆる団体を含めたDMOによる組織の一本化を図り、核となる人材の発掘を行い、新たな地へのプロモーションやマーケティングの取り組みの推進が必要と考える。

市庁舎のあり方に関する調査研究

市庁舎検討特別委員会

調査目的

これまで嬉野市庁舎整備基本構想・嬉野市新庁舎建設基本計画を議決し、市庁舎検討特別委員会において、執行部との意見交換を重ねてきた。

今後、基本・実施設計と進む中で、より具体的な庁舎のあり方や議会施設の配置並びに議会の果たす役割を学ぶため、令和2年4月開庁の島原市、令和4年5月開庁の人吉市、令和5年5月に開庁した宇土市の3市を視察した。

委員会の意見

3市とも財源のほとんどを一般単独災害復旧事業債で賄っている。また、建設費の増額が見込まれる中、大きな増額予算を組むことなく努力されて防災拠点としての機能を担う庁舎にするために配慮されていた。

特に宇土市においては災害の発生初期から復興期までの段階的な庁舎機能の転換が考えられ、市役所機能を継続できるよう明確にゾーニングされていた。

被害を受けた自治体の庁舎に対する危機管理は本市にとって大いに参考となると感じた。



▲ 人吉市役所で説明を受ける委員会

嬉野市の新庁舎においては、嬉野・塩田両地区の市民がいつでも気軽に訪れることができる庁舎となるような仕掛けも必要である。また、市有林並びに県産材を用いた庁舎となることを期待したい。最後に新庁舎建設に当たっては、今後基本・実施設計と進むでいくにあたり、市庁舎検討特別委員会としても市民の皆様への命と財産を守る拠点としての市庁舎となるよう、執行部との協議を重ねていきたい。



お知らせ

新委員会体制について

嬉野市議会は、議長の諮問機関である議会運営委員会と、総務企画常任委員会・文教福祉常任委員会・産業建設常任委員会の3つの常任委員会があり、また、議会活性化特別委員会、議会広報編集特別委員会等があります。

これらの委員会については、嬉野市議会委員会条例や申し合わせ事項などにおいて、任期が2年間となっています。

現在の委員会メンバーで、令和4年第1回定例会後から議会だよりを作成してきましたが今回が最後となり、次回の定例会後の議会だよりについては、新メンバーでの作成となり、デザインや構成などが変わりますので、お知らせいたします。

なお、1月24日に臨時会が開催され、新しい委員会構成が決定されましたが、委員会構成メンバーの詳細につきましては、次回の議会だよりにてご紹介いたします。

ドリームハンズ子ども議会開催予定

嬉野市商工会青年部主催の「職業体験事業ドリームハンズ2024」が行われます。

嬉野市議事堂（議場）でも「こども議会」が開催される予定です。塩田小・五町田小・久間小の5年生から児童7名が参加予定です。

新型コロナウイルスの影響で久しぶりの開催となりますが、こども議会での白熱した議論を期待します。

詳細は次号にて掲載いたします。



お知らせ

閉会中の委員会審査(調査)付託案件

付託事件名	付託委員会名	付託期間
各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項	議会運営委員会	次期定例会まで
議会の活性化を図るための調査研究	議会活性化特別委員会	調査終了まで
議会広報の編集発行に係る調査研究	議会広報編集特別委員会	調査終了まで
市庁舎のあり方に関する調査研究	市庁舎検討特別委員会	調査終了まで
議会ICT化の推進に係る調査研究	議会ICT化の推進に係る特別委員会	調査終了まで

令和6年第1回定例会の 会期日程案

令和6年第1回定例会（3月議会）は、2月28日（水）に開会し、3月19日（火）までの21日間の日程で開催される予定です。

任期の半分（2年間）が過ぎた3月議会からは、常任委員会の委員構成が変わり新たな気持ちで議会活動に取り組むこととなります。令和6年度の当初予算をはじめ令和5年度の補正予算など重要な案件が提案される予定です。

議会としては「歓声が響きあう嬉野市」の実現に向けた条例の制定や予算編成なのか、しっかりと審議・討論しなければなりません。

開会・合同常任委員会

2月28日

常任委員会

2月29日～3月4日

議案質疑

3月7日～3月12日

一般質問

3月13日～3月18日

討論・採決、閉会

3月19日

付託案件

会期日程

全国勤労者空手道選手権大会で見事3位入賞

金崎 りさ子さん (三坂区在住)



今回は、正伝佐賀県勤労者空手道会に所属され、令和5年11月23日東京都で開催された第27回全国勤労者空手道選手権大会において、「型試合」初段の部「第3位」に入賞された。金崎りさ子さんと、「組術・まろばし」総合二人どり有段者組術の部「第3位」に入賞された、金崎りさ子さん、横尾昇くんをご紹介します。

横尾 昇くん (三坂区在住)



問 楽しいことや、きついことは何ですか。
金崎さん 鋭い突きを褒められ、突ぎがきまった時や、演武を見てくださる保護者の方々に温かい言葉をいただいた時は嬉しいです。
きついことは、部活との両立で、くたくたになりながら腰をおとしたり、スピードを出すことができません。う様な演武ができない時です。
横尾くん 地道な練習の中で、着実にレベルアップしていることを実感できた時が楽しいです。
きついことは、型を連続してするので、体力がもたないことです。

問 空手を始めたきっかけを教えてください。
金崎さん 保育園の年中の時に、父と兄が空手をしていたかっこいい姿に憧れて始めました。
横尾くん 小学校2年生から兄と一緒に始めました。強くなりたかったからです。

問 空手をとおして学んだことは何ですか。
金崎さん 技術はもちろんですが、日常生活での礼儀や感謝の気持ちをもつことも村田先生に教えて頂いたと思います。

また、小さい頃、先輩たちから教えて頂いたことを、私が後輩に伝えていくのも役割だと思い、接することも学んだと思います。
横尾くん 礼儀や継続し地道に努力をする姿勢です。

問 高校の部活は。
金崎さん バスケットボール部です。
横尾くん サッカー部です。

問 休日の過ごし方や気分転換の方法を教えてください。
金崎さん 部活動との両立で、休日は殆ど無いに等しいですが、たまの休みは気分転換として、好きな音楽を聴くことです。
横尾くん 勉強や運動をして過ごしています。ゲームをしたりして気分転換を行っています。

村田師範 十数年前に白帯を締め、あたふたしていた子どもが、大舞台に凛として立つ姿を見れば幸せでした。高校生になり、空手を続け、全国大会に出場できたことはたいへん素晴らしい事でした。
また、大会に向けて「心不乱に稽古に取り組む姿は、後輩たちに大きな影響を与えてくれました。

取材を終えて 一つのことを真剣に続け大きな舞台で感じられた今回の経験は、今後の人生の支えになると信じ、これからの彼らの更なる活躍と飛躍を期待し応援していきたい。



C COLUMN

新年を迎えた元旦の夕方、家族で楽しい時間を過ごされていた時、それは突如として起こり状況を一变させた▼連日のニュースで伝えられる現場の様子は、いたたまれない気持ちと、自分として、また、議員として何ができるのかを考えさせられる▼支援の輪が広がっている中において、普段の生活の中における「自助・共助・公助」の重要性を改めて考えさせられるとともに、公的機関はもとより、市民の皆様方に対しても周知と備えの必要性を訴えていきたい▼能登半島地震で亡くなられた多くの方々に、心より「冥福をお祈りし、そして今もなお捜索されている方々の一刻も早い救出と、避難生活などにより大変不自由な思いをされている方々に対し、一日でも早い復旧と復興を願うばかりである。(栄大)

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 諸上栄大 |
| 副委員長 | 山口虎太郎 |
| 委員 | 田中政司 |
| 委員 | 川内聖二 |
| 委員 | 諸井義人 |
| 委員 | 阿部愛子 |
| 委員 | 大串友則 |